

# 身体障がい者に関する受験について

特定非営利活動法人  
ハンゲル能力検定協会  
令和2年3月17日改定

聴覚及び上肢・下肢機能障がい者の受験については、その障がいの程度によって、特別措置を講じます。  
願書提出前に下記の内容をご了承の上、別室での受験に該当する方は、「障がい者等受験特別措置申請書」を提出してください。  
申請書を確認後、協会よりご連絡いたします。申請後の詳細な流れについては、「障がい者等受験特別措置申請書」をご参照ください。

- ※別室での特別措置による試験実施級は準2級～5級です。
- ※試験会場によってはご対応できない場合もあります。
- ※下肢機能障がい者は車椅子使用にて一般受験者と同様とします。
- ※一般と同じ試験室での受験に該当する方は、申請書の提出は不要です(車での来場を希望する場合を除く)。  
願書の注意メモ欄に必要事項(車椅子、軽度難聴等)ご記入ください。
- ※別室受験及び車椅子使用の方は、郵送願書でのお申し込みとなります。オンラインでのお申し込みはできません。

特別処置の適用については、身体障がい者福祉法施行規則に基づき下記記載の通りとします。  
**障がいの程度は個人差により若干異なりますので願書提出前に必ず協会へお問い合わせの上、お申込みください。**

## 1. 聴覚障がい者の試験(聞きとり試験)

難聴の程度	解答方法	検定級	試験時間	試験室	申請書の提出	添付書類	願書提出
4級以上 (両耳80db以上)	筆記形式	5級～準2級	一般と同じ	別室(午前級同室、午後級同室)	必要	障がい者手帳のコピー	申請書受理後 受付期間内
5～6級 (両耳70db以上もしくは 一側耳90db以上・他側 耳50db以上)	筆記形式(*1)	5級～準2級	一般と同じ	別室(午前級同室、午後級同室)	必要	障がい者手帳のコピー	申請書受理後 受付期間内
	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ(教室での席を考慮)	不要	願書の注意メモに記入	受付期間内
その他 中軽度難聴 69db以下	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ(教室での席を考慮)	不要	願書の注意メモに記入	受付期間内

(\*1)聞きとり試験が困難と判断された場合に限り、別途医師の診断書の提示をお願いすることがあります。

- 解答はすべてマークシート方式です。
- 別室での受験方法  
聞きとり試験: 書面による説明文を読み、注意事項を確認のうえ、筆記形式に変更した問題で開始します。  
筆記試験: 聞きとり試験終了後、監督の指示を待って開始します。

## 2. 上肢・下肢機能障害者の試験(筆記・聞きとり試験)

対象者	解答方法	検定級	試験時間	試験室	申請書の提出	添付書類	願書提出
両手が使えず一切の マークが困難な者	拡大マークシート 代筆者(*2)	5級～準2級	一般と同じ	別室(代筆者必要)	必要	障がい者手帳のコピー	申請書受理後 受付期間内
利き手でのマークが 不自由な者	拡大マークシート	5級～準2級	一般と同じ	別室(付添い者必要)	必要	障がい者手帳のコピー	申請書受理後 受付期間内
上記以外車椅子使用者	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ(付添い者必要)	不要(*3)	願書の注意メモに記入	受付期間内
その他の肢体不自由者	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ	不要	願書の注意メモに記入	受付期間内

(\*2)事前に受験者と代筆者で解答の指示方法を決めていただきます。受験者が複数の場合、筆談を利用するなど、  
声をだして指示できない場合もございます。ご了承ください。

(\*3)下肢障がいの方で、お車での来場を希望される方は、申請書の指定欄にお車情報を記入しご提出ください。

- 車椅子使用の方は必ず付添い者を付けてください。その他介助が必要な方も付添い者を付けてください。  
※いかなる場合も、試験場内での事故責任は負いかねます。
- 別室での受験方法  
聞きとり試験、筆記試験: B4サイズに拡大コピーしたマークシート解答用紙を使用します(試験終了後、正規の解答用紙に写します)。  
聞きとり、筆記合わせてマークシートは1枚となります。